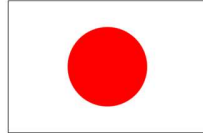




国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism



令和 4年 9月 13日  
水管理・国土保全局下水道部

インドネシアバンドン工科大学で技術セミナーを開催！！

・東南アジアにおける推進工法の現地基準化に向けた方策検討業務の中で、バンドン工科大学でのセミナーを開催し、将来的な本邦推進工法を理解した技術者の裾野を広げるため、本邦推進工法の普及の礎として行った。

○ バンドン工科大学でのセミナー(日本の取組み(推進工法関連))

・セミナー概要

本技術セミナーは、尼国の工学系の名門であり、同国の土木・建設分野を牽引する人材を多数輩出し続けているバンドン工科大学 (BIT: Bandung Institute of Technology) の学生を対象に、推進工法に関する本邦技術の紹介と理解促進を目的として実施した。

バンドン工科大学は、尼国における理工学系大学においてトップランクを誇り、その卒業生は、尼国公共事業省、ジャカルタ特別区役所において、技術的なリーダーシップを発揮している。

- ・参加者 (インドネシア側) 約 50 名 バンドン工科大学国際経調整局次長・DKI ジャカルタ部長・建設、環境学部学生
- (日本側) 約 15 名 国土交通省・GCUS 東南アジア委員会座長森田教授・日本推進技術協会会長・本邦企業(日水コン、GW 社、熊谷組、日特建設、イセキ開発工機、機動建設工業、地建興業)

○ プログラム概要 2022 年 9 月 13 日(火) 現地時間 10:30-15:00

| No. | プログラム/講演者   | プレゼンテーション概要   |
|-----|---|---|
| I   | 開会挨拶及び日本の下水道行政：<br>新田和宏<br>国土交通省下水道部                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本下水道の歴史</li> <li>・日本下水道事業の概略</li> <li>・アジア諸国との連携・協業</li> </ul>                                     |
| 1   | 日本推進工法技術-概論：中野正明<br>日本推進技術協会会長                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・開削工と推進工の比較</li> <li>・推進工の工程</li> <li>・推進工事例(4 例)</li> </ul>   |
| 2   | 下水道工事と維持管理における環境影響評価(LC-CO2)：森田弘昭<br>GCUS 東南アジア委員会 座長<br>日本大学教授 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境アセスメントはなぜ必要か？</li> <li>・環境影響評価の実例</li> <li>-交通渋滞がもたらす二酸化炭素排出状況</li> <li>-工法別二酸化炭素排出量比較</li> </ul> |

|     |   |   |
|-----|---|---|
| 3   | 日本推進工法の積算と費用面の長所：姉崎正幸<br>GCUS 東南アジア委員会 委員<br>株式会社日水コン                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本推進工法の積算</li> <li>・日本推進工法の費用面での長所</li> <li>・実施例に基づく費用面の検証</li> </ul>                         |
| 4   | インドネシアにおける日本推進工法の実践：<br>Gilang Bhisma P<br>PT WIJAYA KARYA(Persero) Tbk   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・チリウン放水路工事の概要</li> <li>・チリウン放水路工事への推進工法の適用</li> <li>・推進工事の監視・制御</li> <li>・推進工事の安全管理</li> </ul> |
| II  | BIT 卒業生からの挨拶：<br>Ms. Elisabeth Tarigan, ST. M.IWM : DKI Jakarta (BIT 卒業生) |   |
| III | 閉会挨拶：Dr. Nita Yanita, ST., MT.:BIT 国際協力調整局次長                              |   |

### ○ セミナー結果概要

- ・国土交通省から開会あいさつとして日本とインドネシアの下水道事業の関りについて述べた。また、日本の下水道行政についてのプレゼンを行った。
- ・日本側の発表内容に対しては、地震による影響はどうか。二酸化炭素排出量を金銭化することは可能か。経済合理性に基づく開削工法と推進工法の適用深度は日本ではどのくらいか。など学生から多数の質問が寄せられた。
- ・バンドン工科大学卒業生の Ms. Elisabeth DKI 部長から閉会の挨拶として、インドネシアにおける下水道、水道整備の課題の一つは、適切な工法選定にあり、この観点から将来を担う学生に対しての期待と日本政府関係者、民間事業者の方の支援を今後とも仰ぎたいとの発言があった。
- ・バンドン工科大学国際協力調整局次長の Dr. Nita Yanita から閉会の挨拶として、今後とも日本とインドネシアの協力のもと、この様なセミナーを多数開催して行きたいとの発言があった。。また、本セミナーの主催者である国土交通省や GCUS 委員会、推進工法協会などに対してお礼が述べられた。



プレゼン



記念品授与



全体

### <問い合わせ先>

国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部 下水道企画課 下水道国際・技術室  
課長補佐 西郷 進也、 国際展開推進係長 新田 和宏  
TEL : 03-5253-8111 [内線 : 34172、34137] 03-5253-8803(直通) FAX : 03-5253-1596